

緑と風と光

健康 思いやり 希望

学校だより・臨時号



教育目標 「こころやさしく けんこうな子
みずからかんがえ やりめく子」



野幌小学校 ホームページ
<https://www2.ebetsu-city.ed.jp/noppo-es/>

江別市立野幌小学校

令和5年3月7日発行

「いじめ」を生まない学校作りを目指して、いじめの積極的認知を進めていきます（「いじめ」認知の誤りと追加認知について）

校長 関口 涼



「いじめ」について、文部科学省、北海道教育委員会での現在の定義では下のようになっています。

※いじめ防止対策推進法における「いじめ」は、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」と規定されています。

《平成26年4月 北海道教育委員会：北海道いじめ防止等に関する条例より》

北海道全体では、右のような「いじめの把握のためのアンケート」を実施し、小さな「嫌な思い」を拾い上げています。大人の目からは「ふざけ合っている」と思っていたものが、実は深刻ないじめであったというようなことが起こらないように、子どもが「嫌な思い」をした場合は、いじめであると認知して、組織的に対応することとなっています。

しかし、本校において令和4年度6月に実施した「いじめの把握のためのアンケート」において、現在の定義では「いじめ」と認知するべきものが「いじめ」として認知されておらず、結果として個別の対応にとどまってしまい、学校としての組織的な対応になっていないものがありました。原因としては、教職員間で「いじめ」の認知についての共通理解が十分でなく、認知・報告から漏れたものです。あらためてアンケートの全ての回

調査票 1-1 小学校高学年用 ()年()組

1 あなたは、今年の4月から今日まで、2 のア〜クのようなことをされて、嫌な思いをしましたか。
ア ある イ ない

2 1で「ア ある」と答えた人に聞きます。どんなことをされましたか。ア〜クの中から全部選び、○を付けてください。また、クを選んだ人は()にどんなことをされたか、具体的に書いてください。
ア 冷やかしたりからかい、悪口をいわれる
イ 仲間はずれや無視をされる
ウ 喧くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたがられたりする
エ ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする
オ お金や持ち物をかくされたり、いたづらされたりする
カ 恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする
キ メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を言われたり、仲間はずれにされたりする
ク その他()

3 1で「ア ある」と答えた人に聞きます。あなたは、2 のこと、今も嫌な思いをしていますか。
ア している イ していない

4 あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか。ア〜クの中から全部選び、○を付けてください。また、クを選んだ人は()に相談する人を具体的に書いてください。
ア 学校の先生 イ スクールカウンセラー ウ 友人 エ 父や母
オ 兄弟姉妹 カ 電話相談 キ メールやSNSの相談窓口
ク だれにも相談しない ク その他()

5 あなたは、今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたことがありますか。
ア ある イ ない

6 学校から「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」が配られていますか、そのカードを知っていますか。
ア 知っている イ 知らない

7 あなたは、2に書かれていることをきき、苦しんだり、悩んだりして心が傷つく「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。
ア そう思う イ そう思わない ウ よくわからない

自由記載欄 他に何か相談したいことがあれば、自由に書いてください。
※SNS上でのトラブルや家庭の悩みなど

答を確認し、16件を追加認知することとし、学校としてその後の様子について類似のものの再発防止も含めて、校内で共有し見守り対応を行っています。

また、いじめに関する職員研修を実施し、10月にもアンケートを実施し、これまでの対応数とあわせて今年度で合計31件を認知しました。認知後は、全教職員で情報を共有し、同様の行為が行われることのないように対応しております。

今回の追加認知については、野幌小学校として文科省の通知に基づいて積極的認知を取り入れたものです。「いじめ」については、継続的に見守りをするようになっており、その行為が止んでいる状態が3か月程度継続し、「嫌な思いをした」児童が心身に苦痛を感じていない状況を確認することで「いじめ」の解消とすることとなっています。また、場合に応じて校内でのいじめの認知をおこなったうえで、いじめという言葉使わずに児童に指導するなどの柔軟な対応も行っています。なお、認知したいじめは、教職員で情報を共有して継続的に対応しておりますが、検討した上で、既に解消されているものや非常に軽微なものについては、保護者の方に「被害者」「加害者」としてお知らせしていないものがあります。

本校においては、2月にも江別市独自の「いじめアンケート」を実施致しました。現在詳細を聴き取り中ですが、上のようなことから、いじめの認知数については増加することが予想されますが、いじめが増えたということではなく、学校として積極的に認知することで、より良い学校を目指すものです。

野幌小学校においては、いじめを生まない学校作りとともに、家庭や関係機関と連携して、適切な対応に努めてまいります。保護者の皆さま地域の皆さまには、改めてご理解とご協力をお願いいたします。



卒業式に向けての準備が始まりました

18日(土)の第123回卒業証書授与式(卒業式)に向けての準備が始まっています。当日の式に参加できるのは卒業生の他は4・5年生ですが、1～3年生も装飾や卒業生に送るメッセージ、動画の撮影などに取り組んでいます。



先日、6年生が入退場の練習を行いました。多くの学校では、初めての練習では「目線を上げて 胸を張って もっとゆっくり堂々と」等と声をかける事が多いのですが、とても初めての練習とは思えない堂々とした入退場でした。

日常的に落ち着いた生活を送り、集会などで代表として発表する経験を多く積んでいることが、こうした時に生きてくるのだと実感されます。卒業式まで10日程になりました。最後まで充実した楽しい小学校生活が送れるように願っています。

